



関西大学東京センター × 関西大学国際文化財・文化研究センター 共催

特別講演会

『関西大学のエジプト調査10年の歩み』

講師／吹田 浩 関西大学文学部教授、関西大学国際文化財・文化研究センター所長

関西大学は、2003年にサッカラで古代壁画の修復のための研究を始めました。日本・エジプト合同マスタバ・イドウト調査ミッションとして、日本とエジプトが対等な関係で調査することをモットーにしています。エジプトの遺跡管理当局、カイロ大学考古学部、遺跡所在地のサッカラ村のいずれとも良好な関係にあり、これが、エジプト学、異文化研究、さらに化学分析、抗菌抗黴化学、建築土木工学など文理融合型の多様な研究を行う基盤になっています。また、サッカラ村と遺跡とのかかわりをも研究対象にしており、国際的にもこれほど多様な研究を行っている調査隊はありません。



開催日 平成26年1月25日(土) 13:30～15:00

場所 関西大学東京センター

申込締切 平成26年1月15日(水) 必着

受講料 無料

吹田 浩(すいた ひろし)



1985年本学西洋史を卒業、'87年本学大学院博士課程前期過程を修了。'92年に本学専任講師として母校に着任し、'95年に助教授、2002年から教授。本学在学中から加藤一朗名誉教授に師事してエジプト象形文字を習得し、古代エジプトの宗教研究に取り組みその後も、難解なヒエログリフ資料を試訳して、それにもとづいて論を立てるといふヨーロッパ流の本格的な研究姿勢を示している。現在は、古代エジプトの文化史の研究に加え、エジプトの遺跡の保存修復活動にも関心をもっており、カイロ大学考古学部の教員やポーランドの大学の教員などと共同で研究を進めている。'03年からは、サッカラにあるイドウトという名の女性のマスタバ墓の地下埋葬室壁画の調査を始め、この地域の壁画の修復技術を世界で初めて開発しようとしている。



特別講演会 お申込方法

申込方法

FAX、E-Mail、またはHP申込フォームにて
①氏名(ふりがな) ②住所 ③電話番号 ④E-Mailアドレス
をご記入の上、1月15日(水)必着でお送りください。
講座開催の1週間前頃を目途にメールまたは郵送にて参加証をお送りします。
当日必ずご持参ください。

申込先

FAX 03-3211-1671
E-Mail ku-tokyo@ml.kandai.jp
HP <http://www.kansai-u.ac.jp/tokyo/>

会場

関西大学東京センター
〒100-0005 千代田区丸の内1-7-12サピアタワー9階
(JR東京駅日本橋口隣接・東京メトロ大手町駅B7出口直結)

お問合せ

関西大学東京センター 公開講座事務局 担当:小林
TEL 03-3211-1670

FAX送信用紙

関西大学東京センター「特別講演会」係宛

ふりがな	
名前	
住所	〒 —
電話番号	— —
E-mail	@

■個人情報の取扱いについて:ご提供いただきました個人情報は、本公開講座開催に際しての管理・連絡のために使用させていただくとともに、今後関西大学東京センターからのお知らせに使用させていただくことがあります。



【文部科学省との共同企画展示 開催中】

古代エジプトの文化財の修復と研究
～異文化理解と文理融合型の複合的・総合的研究の取組～

期 間:平成25年12月2日～平成26年3月末(予定)
※開館は午前10時～午後6時
場 所:文部科学省ミュージアム「情報ひろば」
(旧文部省庁舎3階)